

教科目名 建築学概論 (Introduction to Architecture)

学科名・学年 : 都市システム工学科 4 年

単位数など : 選択 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 後藤勝雄

授業の概要			
建築のデザインと安全性を中心に建築学の概要を学ぶとともに、建築空間の認識を目的に演習を通して建築設計(二次元)や建築模型(三次元)で表現する方法を体験する。また、プロジェクター(画像)で建築デザインの紹介を行い建築空間の認識を理解する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2)	
(1) 建築空間の構成とその安全性について理解する。(課題)			
(2) 建築の標準的な図面表現の方法を理解する。(課題)			
(3) 設計演習や建築模型の製作を通して、建築の仕組みや建築学の体系を理解する。(課題)			
(4) 建築用語と各部位について理解する。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1, 建築学とは、建築学の大意	○ デザイン性と安全性を持つ建築の概略を理解する。	【理解の度合い】
2	2, 演習 I (建築空間と構造)	○ 図面表現と建築空間の構成と整合性を理解する。	
3	3, 演習 II (建築空間とデザイン)	○ 紙を用いた立体構成(折り紙建築の製作。)	
4		○ 単位空間のスケールを理解する。	
5	4, 住宅 I (住宅空間の構成)ゾーニングと動線	○ 日本の住宅様式、インテリア、ダイニングキッチン(住宅図面を読む)(ゾーンと動線の重要性を理解する。)	
6	5, 住宅 II (高齢者とバリアフリー)	○ 高齢者と住まい、高齢化時代の安全設備	
7	6, 演習 III (二世帯住宅の設計)	○ 住宅を平面図で作成(建築の図面表現方法を実践し理解する。)	
8	7, 演習課題 III の解説	○ プランニングおよび立体構成の提案。	
9	8, 住宅の建築家と作品紹介	○ コンセプトとプランのエスキスチェック。住宅作品を読み、理解する。	
10	9, 演習 IV (住宅の模型)	○ 演習 III で作成した二世帯住宅を立体的に模型に仕上げる。(平面図、立面図、断面図の図面の整合性を理解する。)	
11		○ プランと模型の課題提出。	
12			
13			
14			
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	○ わからなかった部分を理解する。	
履修上の注意	講義：毎回資料を配布します、試験は資料からの出題となりますので、必ずファイリングしておくこと。 演習：欠席等で、定められた時間内に完成できなかった場合は、宿題となることがあります。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	なし		
自学上の注意			
関連科目	公園緑地計画		
総合評価	達成目標の(1)～(4)について課題と定期試験で評価する。課題(70% プランと模型)と試験(30% コンセプトとプレゼン等)で100%とし、これを総合評価とする。総合評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点